## 会議等議事要旨記録票

| 五      |  |     |                     |
|--------|--|-----|---------------------|
| 日 時    | 令和4年11月2日(水曜日)午後4時00分から午後5時00分まで   |     |                     |
| 場所     | 3 0 S会議室 (W e b 会議)  |     |                     |
| 会議等名   | 人材育成チーム会議  |     |                     |
| 議期     | 議 題 感染症医療支援ドクター事業について  |     |                     |
| FIX /C | 感染症医療支援ドクター採用者に対する研修について   |     |                     |
| 参加者    | 賀来所長、チームメンバー、福祉保健局関係課長等  |     |                     |
| 配付資料   | なし (資料投影)  |     |                     |
| 主な内容   | (事務局より説明)  ●感染症医療支援ドクター事業について  ●感染症医療支援ドクター採用者に対する研修について  【主な委員意見】  <事業の対象者について>  都の事業では医歴5年目以降の方を対象としているが、こうした方は進路が決まっている場合が多く、そこから一度振り出しに戻る形で参加するのは難しい面もあると思う。医学部を卒業してすぐの人をターゲットにするという考え方もあるのではないか。  <魅力ある事業内容を打ち出すためには>  都外から応募してもらうとなると、相当な覚悟をもった人でないと難しいと感じる。給与以外にも、例えば、住居提供や指導医があらかじめ誰か分かるなど、メリットを加えて見せていくことが必要だと感じる。  ・専門医を目指せるということだけではなかなか応募者が増えないのではないか。東京で勉強するメリット(様々な症例が学べる)を感じてもらえると良い。  〈研修について>  ・行政のキーパーソンになる方を育成することが主目的の研修だが、民間の施設等で働く方などのカウンターパートになる方々とネットワークを密にして研修プログラムを作成していくことが重要であると考える。 |     |                     |
| 作成者    | 計画課 大宅   | 確認者 | 東京感染症対策センター担当 課長 山崎 |